



令和8年9月10日

塩竈市長 佐藤 光樹 様

塩竈市長期総合計画審議会

会長 柳井 雅也

『第6次塩竈市長期総合計画後期基本計画』(案)について(答申)

塩竈市長期総合計画審議会設置条例(昭和45年1月23日条例第3号)第2条に基づき、令和7年12月23日付け政第216号で本審議会に諮問された第6次塩竈市長期総合計画後期基本計画の策定について、慎重に審議を行いましたので、下記のとおり答申します。

記

1. 「第6次塩竈市長期総合計画後期基本計画」(案)について

別添のとおりです。

2. 審議経過について

当審議会は、令和7年12月から5回にわたる審議を重ねてきました。今次計画より、社会情勢の変化に速やかに対応していくため、基本計画が前期・後期それぞれ5年としたことから、基本構想で定める目指す都市像、8つのまちづくりの目標、将来人口を基本として、前期基本計画の総括、基礎調査、市民や企業へのアンケート、パブリックコメントなどを実施して、課題の整理を行い、後期基本計画に反映させるため、丁寧な議論の積み重ねと合意形成を心がけながら、検討を行いました。

3. 後期基本計画について

(1) 後期基本計画の策定にあたって

基本計画が前期・後期それぞれ5年になったことを踏まえ、前期基本計画で定めた施策の評価・検証をして、重要目標達成指標（KGI）の結果や成果指標に基づく総括、市民や市内企業、市外居住者を対象とした調査から出た課題を丁寧に把握するとともに、市政運営における主要な時代の潮流について整理を行いました。

そのなかで、少子高齢化の急速な進展に伴う人口減少は、全国の自治体が直面している避けられない共通の課題であります。本市では人口減少対策の効果が出ている一方で、目標人口を下回る結果となっていることから、さらなる転入増と流出抑制を図ることで、目標人口 50,000 人を維持することとしました。

また、基本構想に掲げる目指す都市像「海と社に育まれる楽しい塩竈」の実現を目指すため、前期基本計画より開始した「塩竈らしい 100 の暮らし」、基本計画の各施策を進める原動力となる「しおがま未来創生プロジェクト」や持続可能な開発目標（SDGs）など、市民の目線と施策を横断的に繋ぎ、幅広い視点も継続して取り入れることとしています。

(2) 後期基本計画における施策の展開

後期基本計画では、これらの総括を踏まえ、主に以下の4点について意見がまとめられたことから、前期基本計画から修正を図る形で施策を設定しています。

1. 良好な地域コミュニティの形成と生きがいの創出

地域で活躍する団体の連携強化や継続性の確保とともに、コミュニティへの支援の充実や地域に高齢者を巻き込んだ環境づくりなど

2. 子育て世代の産み育てやすい環境の整備

子ども家庭センター設置による連携強化や子育て世代に選ばれるための環境整備や情報発信の充実など

3. 社会環境の変化

物価高騰の急速な社会情勢の影響に対する国や県と連携した支援を行うとともに、循環型社会の実現や基幹産業である水産業を取り巻く環境への対応など

4. 関係人口と定住人口の拡大

多様化する観光ニーズに対応した観光振興を行うとともに、時代とターゲットに即した効果的なPR活動の実施など

本計画の着実な推進に向けて、成果指標に基づく施策の実施状況の定期的な評価を行い、改善に結び付けていくため、市民への周知については、様々な機会、手段を活用し、積極的かつ継続的に情報発信を行うなど、周知を徹底して行うことを強く求めます。